

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	地域保健活動普及等経費	担当部局庁	健康局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成6年度	担当課室	がん対策・健康増進課地域保健室	政田敏裕				
会計区分	一般会計	施策名	IV-3-6 地域の保健医療体制を確保する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	サービスの受け手である生活者個人の立場に立った地域保健対策の推進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国民に健康的な生活習慣を定着させるため啓発活動、特定保健指導実施機関の評価方法等の検討及び全国会議の開催等による対象者の生活状況に応じた質の高い保健指導の手法の検討等を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	24	23	20	15	15	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	24	23	20	15	15	
		執行額	12	19	10			
	執行率(%)	50	82.6	50				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	市町村保健師数		成果実績	人	20,707	20,246	集計中	対前年度以上
			達成度	%	100	98	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	地域保健対策検討会の開催回数		活動実績 (当初見込み)		—	4	6	—
					—	()	()	()
単位当たりコスト	494(円/成果実績)		算出根拠	平成22年度執行額/平成22年度市町村保健師数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1	1					
	職員旅費	1	1					
	委員等旅費	2	2					
	庁費	9	9					
	社会保障関係情報化業務庁費	2	2					
	計	15	15					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国民に健康的な生活習慣を定着させるため啓発活動、特定保健指導実施機関の評価方法等の検討及び全国会議の開催等による対象者の生活状況に応じた質の高い保健指導の手法の検討等を行っており、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	国民に健康的な生活習慣を定着させるため啓発活動、特定保健指導実施機関の評価方法等の検討及び全国会議の開催等による対象者の生活状況に応じた質の高い保健指導の手法の検討等を行っており、国が実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	会議に係る謝金、旅費、消耗品等に係る支出を抑えたことにより不用が生じた。
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	契約金額が少額であるため随意契約で行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	消耗品等に係る支出の抑制等によりコストの削減に努めることとする。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	本経費は、地域保健活動に伴う会議開催等に係る経費であり、実情に応じて適切に執行する。
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	都道府県(保健所)及び市町村の保健師については、地方交付税の算定基礎の対象となっており、必要な保健師の計画的な増員が図られてきたところである。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	地域保健対策の推進を図っていくための検討会の実施など、活動実績は見込みに見合ったものと言える。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	-
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
点検結果	<p>本経費は、サービスの受け手である生活者個人の立場に立った地域保健対策の推進を図る経費であり、国民の健康の保持増進につながるものであり、また、各点検項目において妥当であり、成果、実績も達成されているため、引き続き必要な経費と判断するが、会議に係る謝金、旅費、消耗品等に係る支出を抑えたことにより一定の不用が生じた。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業については、毎年度恒常的に不用が生じているものの、地域保健対策の推進に必要な経費であり、事業内容及び予算規模を維持すべきであるが、引き続き、効率的な予算執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	297	平成23年行政事業レビュー	0271

平成23年度

厚生労働省
10百万円

地域保健対策の啓発普及のため地域保健対策の推進に関する
検討、研修の実施、特定保健指導実施機関の評価方法等の検討
などの事業を実施

【少額随契】

A.株式会社 イマージュ
1百万円

保健師活動調査集計業
務

B 株式会社 日本能率協会
総合研究所
1百万円

特定保健指導実施機関に
おける内部評価に係る評
価者要請事業の実施

その他、省内で使われる旅費、庁費等である。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.株式会社 イマージュ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	保健師活動調査集計業務	1			
計		1	計		0
B.株式会社 日本能率協会総合研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	評価者要請事業の実施	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)イマージュ	保健師活動調査集計業務	1	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本能率協会総合研究所	特定保健指導実施機関における内部評価に係る評価者養成事業の実施	1	随意契約	